



自我作古

大津市立瀬田南小学校

学校便り 9月号

児童数 746名

令和3年9月1日発行

<http://www.otsu.ed.jp/setm/>

校訓「自我作古」：自らの道を自らの力で切り拓き、新しい歴史を作り上げていこう！

学校教育目標：やさしく、かしこく、たくましく カー杯生きぬく児童の育成

《9月の行事予定》

1	水	2学期始業式 シェイクアウト訓練 教科書類配付	3校時日課
2	木		3校時日課
3	金	給食開始	4校時日課
4	土		
5	日		
6	月	身体計測6年	4校時日課
7	火	身体計測6年 SC来校日	4校時日課
8	水	身体計測5年	4校時日課
9	木	身体計測5年	4校時日課
10	金	身体計測4年	4校時日課
11	土		
12	日	※緊急事態宣言解除予定日	
13	月	クラブ活動 代表委員会 身体計測4年	
14	火	身体測定3年	
15	水	身体計測2年	5校時日課
16	木	身体計測2年	
17	金	身体計測1年	
18	土		
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火	1・2年引き渡し訓練A SC来校日	
22	水	1・2年引き渡し訓練B SC来校日	
23	木	秋分の日	
24	金	身体計測1年	
25	土		
26	日		
27	月	委員会活動 学費振替日 教育実習後期スタート	
28	火	4年ふるさと体験学習 5年70-ティグ'出前授業	
29	水	5年70-ティグ'出前授業	
30	木	避難訓練(不審者対応)	



2学期が始まりました。コロナウイルス感染症の勢いが衰えず、不安の中でのスタートとなります。滋賀県にも緊急事態宣言が発令さ

れていますので、これまで以上に「学校でできる対策（密にならない・手洗い・マスク・健康観察等）」を確実にを行い、授業の内容も感染の可能性が高い活動（調理実習や合唱・リコーダー奏等）に制限をかけます。唯一マスクを外す給食の時間は、これまで通り「同じ方向を向いて・黙食」を徹底するとともに、**全員に飛沫防止ガードを配付**し安全性を高めることにしました。



緊急事態宣言発令中の9/10までは、給食後下校の4校時日課となりました。9/13以降については、今後の感染状況を見て対応が決定されます。9/8頃には、お知らせできる予定です。

ご家庭での健康観察にご協力ください。学校で体調を崩されますと、これまでのように保健室で様子を見ることはできません。すぐにお迎えをお願いすることになります。本人や家族に発熱や風邪症状などがあるときは、出席を控えてください。また、本人や家族が「PCR検査を受検するとき」「検査結果が判明したとき」「濃厚接触者等に特定されたとき」には、必ず学校にお知らせください。

校内で感染が確認された場合等、学年閉鎖の措置をとることがあります。メールでお知らせをしますが、感染確認のタイミングによっては、連絡が深夜になることも考えられます。お心づもりをお願いいたします。

あきらめないで！

今日の始業式はオンラインで行いました。校長から「あきらめない

で」というテーマで話をしました。

校長室にこのような色紙が飾ってあります。これは、19年前、当時の日本けん玉協会の会長に書いていただいた色紙で、校長の宝物の一つです。子どもたちにけん玉を教えるとき、私はいつも「あきらめないで！あきらめなかったら絶対できるようになるからね。」と言って聞かせます。私自身も、初めは全くできなかったけれどあきらめず練習したらできるようになったという経験があります。「あきらめなければ…」というのは、けん玉に限ったことではなく、学習でもスポーツでも人生においても、大切な心構えだと思っています。



子どもたちに、この夏輝いておられた二人のアスリートを紹介しました。一人目は、オリンピック競泳の大橋悠依選手。大学時代、原因不明の不調に悩み一度は競技をやめるとコーチに伝えた大橋選手でしたが、原因が極度の貧血だと分かり、治療と猛練習でタイムを上げていったそうです。あきらめなかった結果が個人メドレー2冠というすばらしい成果でした。二人目は、パラリンピック、トライアスロンの宇田秀生選手です。高校時代はサッカーの滋賀県選抜に選ばれるほどの実力者で、スポーツ万能だった宇田選手。仕事中に事故にあい右腕を失ったのだそうです。家族に支えられ、人生をあきらめなかった宇田選手はトライアスロンという競技と出会い打ち込みます。そして見事銀メダルを獲得されました。お二人は、いずれも滋賀県出身の方です。

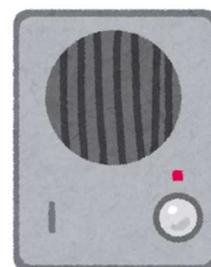
ふるさとの先輩から刺激をもらい、「あきらめずに」色々なことにチャレンジして行ってほしいと願っています。

校内セキュリティを高めるために（お願い）

大教大附属池田小事件から今年で20年がたちます。この事件をきっかけに、大津市でも警備員を学校に配置したり校門を閉めるようにしたりと様々な対策を行いました。しかし20年という月日が経過したことで、対応に緩みが出てきたことは否めません。本校でも、夏休み中に学校の安全について学び直す機会を持ちました。そして、安心安全な学校にするために見直しできることがないか検討しました。

2学期より下記の通り、児童と教職員以外の方が校舎内を歩いていることを極力減らす取り組みから始めますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ①保護者の方が来校される際は、PTAから配付された名札を着用してください。
- ②授業中の校舎立ち入りは、原則ご遠慮ください。お迎えや忘れ物等ご用の際は、北校舎の正面玄関でインターホンを使ってお知らせください。昇降口からの校舎立ち入りはお断りします。
- ③校舎内では、職員から声をかけさせていただくことがあります。



※コロナ感染対策も兼ねております。

